

三木ロータリー週報

会長・宮永 淳 幹事・小藤 貴雅 S.A.A. 畑中 伸介 クラブ会報委員会一発行

例会日・毎週金曜日12:30～13:30 例会場・三木商工会館4階大会議室 T E L (0794) 82-3190

事務局・兵庫県三木市本町2丁目1番18号 三木商工会館内 T E L (0794) 82-8880
F A X (0794) 82-0909
URL: www.miki-rc.jp E-mail: info@miki-rc.jp

ロータリーのマジック

2025年 2月21日

NO. 30 (NO.3249)

今週のプログラム

2月21日 会員卓話 糸田隆生 会員 ゲスト講師：市川 竜太様
「健康との付き合い方」 (柔道整復師・専科教員・いんどり鍼灸接骨院)

次週のプログラム

2月28日 会員卓話 友定 道介 会員 「糖尿病仮免生活」

本日のソング



♪それでこそロータリー♪

次回年2月28日のお弁当は荒川さんです S.A.A.

親睦(委)
出席(委)ホームページ会員専用
ID: mikirc
PW: miki1230

出席記録	会 員 数	出席者	当日出席率	メイクアップ他	出席率
本 日	49名中				
2月14日	49名中	36名	36/44 81.81%	6名	42/44 95.45%
2月 7日	49名中	35名	35/44 79.54%	9名	44/44 100%

◇ 2月 7日のメイクアップ 出席者 井本太君・右手秀彦君・岡島正造君・坂本雅直君・畑中伸介君・服部哲也君・
平野薫大君・廣田篤生君・前田静也君 (I.M.)◇ 2月14日のメイクアップ 出席者 岡田紹宏君・橘田剛君・坂井幸嗣君・竹内良一君・松岡丈二君 (I.M.) 岡島正造君
(三木みどり)

前回例会2025年2月14日の記録

【本日のお客様】 岸本 健吾 様 (兵庫県企画部万博推進局万博推進課長)

【会長の時間】 本日は2月14日という事でテーブルの上に計倉さんからのプレゼントを頂いております。
有難うございます。

3月1日(土)、2日(日)に地区大会が開催されますが、登録が低調です。欠席でお返事頂いている方も土日でのスケジュール調整をして頂いて、まだ間に合いますので、是非ご参加頂きますよう宜しくお願いします。

本年度は緊縮予算の中、各委員長方は予算通り進めて頂いております。特に親睦委員会はかなり少ない予算の中で、手作りで事業を盛り上げて貢献して頂いております。社会奉仕委員会では、FM みっきいの協賛を半分にさせていただきました。番組のスポンサーよりも三木 RC が

何に注力しているのかが分かるようにしたい。予算をカットしながらも、必要な場合は支出をさせていただきます。

青少年奉仕委員会では、「ねこどしなぜない？」の寄付は継続しておりますが、少し削らせて頂きました。国際交流委員会では、外国人が 2,685 人と大変増えてきており、人口の1割を超えてくるとフォローが厳しくなると思います。今後どういう体制で行うのか大きな問題になるかと思ひます。

良い方向に持って行きますので、引き続きご協力をお願いします。



【幹事報告】

- ① 3月1、2日開催の地区大会ですが、再度出欠を回しますので、調整の方をお願い致します。
- ② 例会終了後理事会がありますので、研修室 AB まで理事の方はお集まり下さい。

【委員会報告】

出席委員会 本日の例会は会員49名中36名出席で出席率は81.81%です。

ニコニコ箱 (*^-^*)

累計 ¥1,425,100 円

前田 静也 君 昨年の12月からの例会欠席が2か月続き、今日からまた出席できるようになりました。初めての手術となりましたが、健康の大切さを身に染みて実感している昨今です。

森永 英樹 君 金鹿さん、昨日はお世話になりました。楽しい夜をありがとう。P.S.前田さん、お帰りなさい!!

横尾加名子君 ハッピー、バレンタイン!

河原 秀行 君 先月、三女 愛優(あゆ)のお食い初めを行いました。元気に育ってほしいです。

会員卓話 西垣 孝信 会員 ゲスト講師：岸本 健吾 様 (兵庫県企画部万博推進局万博推進課長)

「2025年大阪・関西万博に向けた兵庫のアクションプラン ver.4」

2025年大阪・関西万博について、ネガティブなニュースが流れていますが、盛り上げていけるよう万博の魅力をお伝えいたします。

兵庫県の万博推進室は、①万博を機会に兵庫県へ人を呼び込む、②県民の皆さんに万博へ参画してもらう、というミッションを掲げて施策を行っている。



1. ひょうごフィールドパビリオンの展開

パビリオンの建物を立てるのではなく、兵庫県が1つのパビリオンと見立て、兵庫県内に循環型農業、地場産業などに訪れてもらおうという施策。

単なる観光施策ではなく、地域経済の繁栄、経済的な側面、地場の事を知って好きになる、定住人口を増やす、持続的なライフスタイルの構築につなげる。

①プロモーション②商品化支援③磨き上げ研修④万博後の継続に向けた在り方を検討

2. 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうご EXPO TERMINAL における魅力発信

HYOGO ミライバス・・ライド感溢れるバスに乗って見てもらう。

但馬牛の部位の立体パズル、日本海と瀬戸内海の高産資源の違い、合鴨農法など、パズルやすごろくを使い楽しみながら学べる。



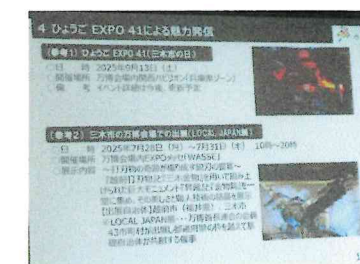
3. ひょうご EXPO Week による魅力発信

8つのテーマに添った様々なイベントを兵庫県各地で行う。

4. ひょうご EXPO 41 による魅力発信

兵庫県の41市町の魅力を集中的に発信する「市町の日」を設定し、万博を身近に感じ、ふるさとの魅力を見つめ直すきっかけとする。

(三木市) 日時：9月13日(土) 開催場所：万博会場内関西パビリオン「兵庫県ゾーン」



5. ひょうご EXPO (子どもの夢プロジェクト) の実施

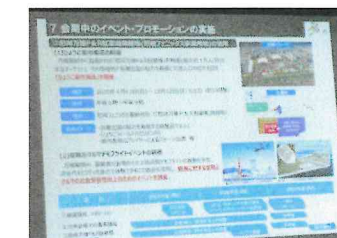
子どもたちが主体的に万博に関わり、子どもと共創するプロジェクト

6. 公民連携による万博子ども招待プロジェクト

子どもたちを招待する兵庫県の取組に賛同する企業と連携し、万博子ども招待プロジェクトを実施。高校生は公共交通機関で行きやすいので増えてきている。

7. 会期中のイベント・プロモーションの実施

ひょうご楽市楽座 期間中土日の4時～午後9時 マルシェ、ステージイベントを行う予定。空飛ぶクルマデモフライトイベントの開催。



8. 推進体制の構築

県内41市町長、関係団体等が参画する推進協議会。500社以上が参画。

<万博に向けた兵庫の取組のKPI>

観光としての誘客にとどまらず、シビックプライドの醸成、次世代を担う人材の育成、万博を身近に感じてもらうなど、ポスト万博を見据えた豊かな兵庫の実現に向けた指標を設定して取り組んでいる。

ご清聴有難うございました。